

インドネシア債券ファンド

運用報告書(全体版)

第108期(決算日 2021年5月10日) 第110期(決算日 2021年7月8日) 第112期(決算日 2021年9月8日)
第109期(決算日 2021年6月8日) 第111期(決算日 2021年8月10日) 第113期(決算日 2021年10月8日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「インドネシア債券ファンド」は、2021年10月8日に第113期の決算を行ないましたので、第108期から第113期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | | |
|--------|--|---|
| 商品分類 | 追加型投信/海外/債券 | |
| 信託期間 | 2012年5月24日から2022年4月8日までです。 | |
| 運用方針 | 主として「インドネシア債券マザーファンド」受益証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要運用対象 | インドネシア債券ファンド | 「インドネシア債券マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。 |
| | インドネシア債券マザーファンド | インドネシアの債券を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | インドネシア債券ファンド | 株式への実質投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 |
| | インドネシア債券マザーファンド | 株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |
| 分配方針 | 第1計算期は収益分配を行ないません。第2計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。 | |

お知らせ

当ファンドは、2022年4月8日に信託期間が終了し、償還を迎える予定です。

<641758>

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近30期の運用実績

| 決算期 | 基準 (分配) | 標準価額 | | | 債 組 入 比 | 券 率 | 純 資 産 額 |
|------------------|------------|--------|--------|--------|------------------|--------|------------------|
| | | 税 分 | 込 配 | み 金 | | | |
| | 円 | | 円 | | % | % | 百万円 |
| 84期(2019年5月8日) | 6,855 | | 50 | | △ 4.5 | 92.9 | 338 |
| 85期(2019年6月10日) | 6,741 | | 50 | | △ 0.9 | 93.6 | 334 |
| 86期(2019年7月8日) | 7,130 | | 50 | | 6.5 | 93.9 | 355 |
| 87期(2019年8月8日) | 6,810 | | 50 | | △ 3.8 | 90.5 | 342 |
| 88期(2019年9月9日) | 6,914 | | 50 | | 2.3 | 93.7 | 349 |
| 89期(2019年10月8日) | 6,929 | | 50 | | 0.9 | 93.6 | 352 |
| 90期(2019年11月8日) | 7,257 | | 50 | | 5.5 | 93.6 | 363 |
| 91期(2019年12月9日) | 7,063 | | 50 | | △ 2.0 | 92.1 | 340 |
| 92期(2020年1月8日) | 7,071 | | 50 | | 0.8 | 88.4 | 341 |
| 93期(2020年2月10日) | 7,446 | | 50 | | 6.0 | 94.6 | 341 |
| 94期(2020年3月9日) | 6,546 | | 50 | | △11.4 | 90.1 | 280 |
| 95期(2020年4月8日) | 5,682 | | 50 | | △12.4 | 87.6 | 247 |
| 96期(2020年5月8日) | 6,007 | | 50 | | 6.6 | 92.1 | 263 |
| 97期(2020年6月8日) | 6,965 | | 50 | | 16.8 | 95.4 | 303 |
| 98期(2020年7月8日) | 6,522 | | 50 | | △ 5.6 | 94.8 | 278 |
| 99期(2020年8月11日) | 6,552 | | 50 | | 1.2 | 94.4 | 274 |
| 100期(2020年9月8日) | 6,384 | | 50 | | △ 1.8 | 94.4 | 264 |
| 101期(2020年10月8日) | 6,325 | | 50 | | △ 0.1 | 95.0 | 263 |
| 102期(2020年11月9日) | 6,535 | | 50 | | 4.1 | 93.9 | 274 |
| 103期(2020年12月8日) | 6,668 | | 50 | | 2.8 | 95.3 | 255 |
| 104期(2021年1月8日) | 6,747 | | 50 | | 1.9 | 93.8 | 254 |
| 105期(2021年2月8日) | 6,761 | | 50 | | 0.9 | 93.8 | 248 |
| 106期(2021年3月8日) | 6,501 | | 50 | | △ 3.1 | 89.9 | 234 |
| 107期(2021年4月8日) | 6,478 | | 50 | | 0.4 | 94.2 | 211 |
| 108期(2021年5月10日) | 6,622 | | 50 | | 3.0 | 94.6 | 214 |
| 109期(2021年6月8日) | 6,612 | | 50 | | 0.6 | 93.8 | 208 |
| 110期(2021年7月8日) | 6,540 | | 50 | | △ 0.3 | 94.2 | 192 |
| 111期(2021年8月10日) | 6,585 | | 50 | | 1.5 | 93.9 | 191 |
| 112期(2021年9月8日) | 6,688 | | 50 | | 2.3 | 94.0 | 191 |
| 113期(2021年10月8日) | 6,599 | | 50 | | △ 0.6 | 91.4 | 185 |

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

| 決 算 期 | 年 月 日 | 基 準 | 価 額 | | 債 組 入 比 率 |
|-------|---------------------|------------|-------|--------|-----------|
| | | | 騰 落 率 | 率 | |
| 第108期 | (期 首) 2021年4月8日 | 円 6,478 | | % - | % 94.2 |
| | 4月末 | 6,549 | | 1.1 | 94.1 |
| | (期 末) 2021年5月10日 | 6,672 | | 3.0 | 94.6 |
| 第109期 | (期 首) 2021年5月10日 | 6,622 | | - | 94.6 |
| | 5月末 | 6,627 | | 0.1 | 93.8 |
| | (期 末) 2021年6月8日 | 6,662 | | 0.6 | 93.8 |
| 第110期 | (期 首) 2021年6月8日 | 6,612 | | - | 93.8 |
| | 6月末 | 6,561 | | △0.8 | 89.6 |
| | (期 末) 2021年7月8日 | 6,590 | | △0.3 | 94.2 |
| 第111期 | (期 首) 2021年7月8日 | 6,540 | | - | 94.2 |
| | 7月末 | 6,535 | | △0.1 | 94.2 |
| | (期 末) 2021年8月10日 | 6,635 | | 1.5 | 93.9 |
| 第112期 | (期 首) 2021年8月10日 | 6,585 | | - | 93.9 |
| | 8月末 | 6,642 | | 0.9 | 94.6 |
| | (期 末) 2021年9月8日 | 6,738 | | 2.3 | 94.0 |
| 第113期 | (期 首) 2021年9月8日 | 6,688 | | - | 94.0 |
| | 9月末 | 6,743 | | 0.8 | 90.8 |
| | (期 末) 2021年10月8日 | 6,649 | | △0.6 | 91.4 |

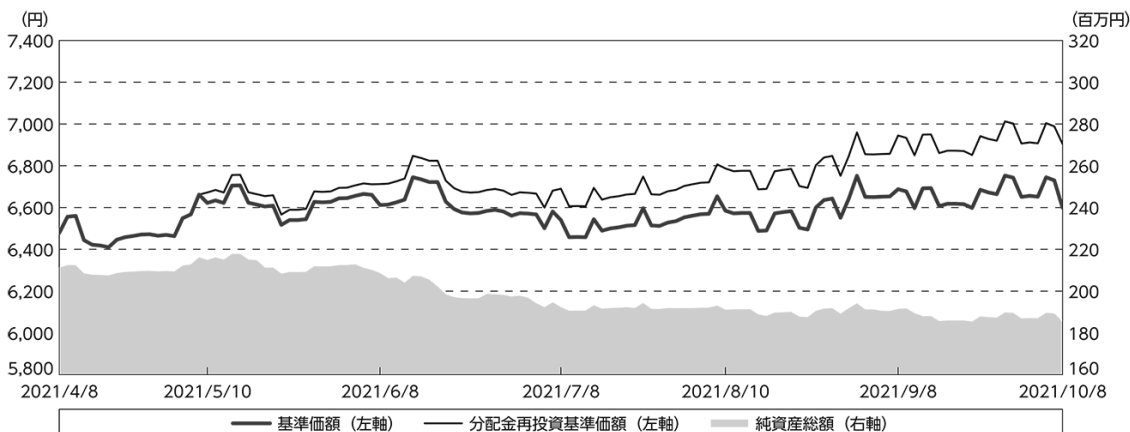
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2021年4月9日～2021年10月8日)

作成期間中の基準価額等の推移



第108期首：6,478円

第113期末：6,599円 (既払分配金 (税込み)：300円)

騰落率：6.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2021年4月8日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の変動要因

当ファンドは、主として、インドネシアの債券に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・魅力的な利回り水準や低いインフレ率が、インドネシア国債の需要を下支えしたこと。
- ・インドネシア中央銀行と財務省との間で資金調達負担共有スキームが延長されたことが、インドネシア国債利回りの低下 (債券価格は上昇) を後押ししたこと。
- ・投資債券からインカム収入を得たこと。

<値下がり要因>

- ・2021年6月に米国連邦準備制度理事会（FRB）の金融政策姿勢がタカ派（景気に対して強気）に転換した局面において、インドネシアの通貨がやや弱含んだこと。
- ・インドネシアの新型コロナウイルス感染者数が再び増加に転じ、インドネシアの資産に対する投資家心理がやや悪化したこと。

投資環境

（債券市況）

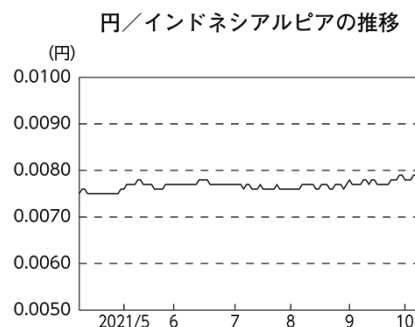
2021年6月以降、インドネシアの新型コロナウイルス感染者数は急増し、インドネシア政府は複数の地域で再び厳しい移動制限を再導入しました。その後9月には、新規感染者数や死亡者数が大幅に減少したことから、インドネシア政府は徐々に公共活動の制限措置を緩和しました。

期間中、インドネシア中央銀行（BI）は政策金利を維持しました。BIは、政策金利の維持決定は、インドネシアルピアの安定と低インフレ下での景気回復を支援するという政策の優先事項に沿ったものであると繰り返し表明しました。また、BI総裁は、景気回復が順調に進み、政策当局がインフレの兆候を認めた場合には、金融政策の引き締めを来年にも開始する可能性があると言及しました。そのほか、BIは、2021年の国内総生産（GDP）成長率の見通しを3.5%~4.3%としたほか、消費者物価指数（CPI）上昇率は2021年の目標である2%~4%の範囲内に上昇するとの見通しを示しました。

期間末にかけて、BIは政府による新型コロナウイルス関連の医療・福祉法案の資金調達のために、2021年に約215兆インドネシアルピア、2022年に約224兆インドネシアルピアの国債を買入れると発表しました。この発表のほか、政府が未執行予算を活用することにより年内の国債供給が減少するという報道も相まって、インドネシア国債利回りは大幅に低下しました。

（為替市況）

期間中におけるインドネシアルピアは、対円で右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「インドネシア債券マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

(インドネシア債券マザーファンド)

期間の前半はインドネシア債券に対して中立的な見方を維持しました。2021年7月以降は債券供給見通しの改善を背景に、インドネシア債券に対してより強気な見方に転じました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

| 項 目 | 第108期 | 第109期 | 第110期 | 第111期 | 第112期 | 第113期 |
|--------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| | 2021年4月9日～ 2021年5月10日 | 2021年5月11日～ 2021年6月8日 | 2021年6月9日～ 2021年7月8日 | 2021年7月9日～ 2021年8月10日 | 2021年8月11日～ 2021年9月8日 | 2021年9月9日～ 2021年10月8日 |
| 当期分配金 (対基準価額比率) | 50 0.749% | 50 0.751% | 50 0.759% | 50 0.754% | 50 0.742% | 50 0.752% |
| 当期の収益 | 28 | 22 | 18 | 36 | 27 | 21 |
| 当期の収益以外 | 21 | 27 | 31 | 13 | 22 | 28 |
| 翌期繰越分配対象額 | 273 | 246 | 215 | 202 | 180 | 152 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「インドネシア債券マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

(インドネシア債券マザーファンド)

債券供給見通しの改善を受け、インドネシア債券に対してより強気な見方をしています。インドネシア債券の2021年の供給量が減少することや、世界的な低金利が、短期的にインドネシア債券を押し上げる要因になるとみています。現在進行中の新型コロナウイルスの感染拡大により成長率が低下していることや、インフレ率が低位に抑制されていることなどを背景に、B Iは緩和的な金融政策を今年いっぱい維持するとみています。また、当ファンドでは、インドネシアルピアは引き続きレンジ内で推移するとみており、経常収支見通しや全体的な米ドルの動向に大きく左右されるとみています。

引き続き、主として、インドネシアの債券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年4月9日～2021年10月8日)

| 項 目 | 第108期～第113期 | | 項 目 の 概 要 |
|------------------------|-------------|------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 円 52 | % 0.794 | (a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 |
| (投 信 会 社) | (22) | (0.331) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販 売 会 社) | (29) | (0.441) | 運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価 |
| (受 託 会 社) | (1) | (0.022) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) そ の 他 費 用 | 34 | 0.513 | (b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (12) | (0.176) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監 査 費 用) | (0) | (0.002) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (印 刷 費 用) | (3) | (0.048) | 印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用 |
| (そ の 他) | (19) | (0.288) | その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 86 | 1.307 | |
| 作成期間の平均基準価額は、6,609円です。 | | | |

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

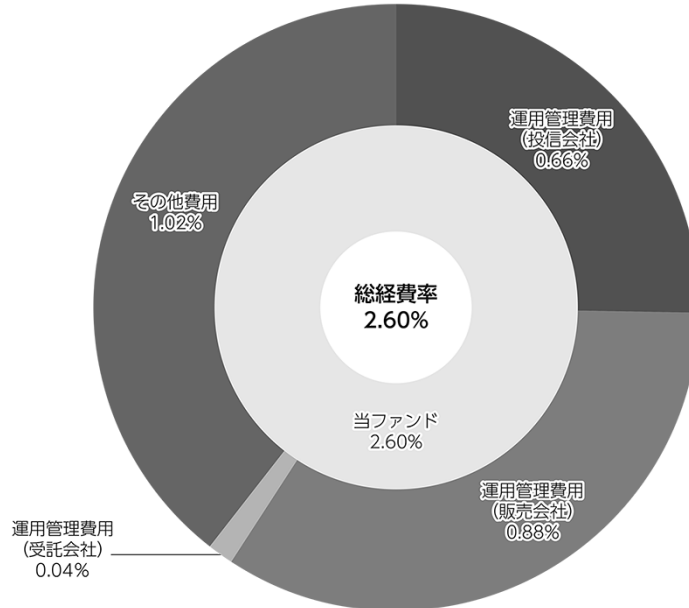
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.60%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2021年4月9日～2021年10月8日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘 | 柄 | 第108期～第113期 | | | |
|-----------------|---|-------------|-------|--------|--------|
| | | 設 定 | | 解 約 | |
| | | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| | | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| インドネシア債券マザーファンド | | 2,759 | 4,086 | 29,133 | 43,570 |

○利害関係人との取引状況等

(2021年4月9日～2021年10月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2021年4月9日～2021年10月8日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2021年4月9日～2021年10月8日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2021年10月8日現在)

親投資信託残高

| 銘 | 柄 | 第107期末 | 第113期末 | |
|-----------------|---|---------|---------|---------|
| | | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| | | 千口 | 千口 | 千円 |
| インドネシア債券マザーファンド | | 143,099 | 116,725 | 180,820 |

(注) 親投資信託の2021年10月8日現在の受益権総口数は、116,725千口です。

○投資信託財産の構成

(2021年10月8日現在)

| 項 目 | 第113期末 | |
|-----------------|---------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| インドネシア債券マザーファンド | 180,820 | 96.6 |
| コール・ローン等、その他 | 6,453 | 3.4 |
| 投資信託財産総額 | 187,273 | 100.0 |

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) インドネシア債券マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（180,094千円）の投資信託財産総額（182,304千円）に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=111.73円、1インドネシアルピア=0.0078円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

| 項 目 | 第108期末 | 第109期末 | 第110期末 | 第111期末 | 第112期末 | 第113期末 |
|----------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 2021年5月10日現在 | 2021年6月8日現在 | 2021年7月8日現在 | 2021年8月10日現在 | 2021年9月8日現在 | 2021年10月8日現在 |
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| (A) 資産 | 216,854,689 | 213,373,073 | 197,800,311 | 194,412,873 | 194,095,135 | 187,273,541 |
| コール・ローン等 | 5,941,079 | 7,148,688 | 5,253,274 | 4,856,854 | 5,209,435 | 4,971,757 |
| インドネシア債券マザーファンド(評価額) | 209,465,786 | 203,403,542 | 187,535,336 | 186,392,921 | 186,742,867 | 180,820,195 |
| 未収入金 | 1,447,824 | 2,820,843 | 5,011,701 | 3,163,098 | 2,142,833 | 1,481,589 |
| (B) 負債 | 1,953,245 | 4,731,228 | 5,461,149 | 3,350,169 | 2,640,228 | 1,759,688 |
| 未払収益分配金 | 1,622,750 | 1,577,638 | 1,470,395 | 1,450,710 | 1,431,423 | 1,405,675 |
| 未払解約金 | 19,314 | 2,851,634 | 3,680,295 | 1,557,756 | 887,706 | 13,693 |
| 未払信託報酬 | 292,715 | 267,433 | 260,261 | 274,880 | 239,909 | 244,378 |
| 未払利息 | 1 | 3 | 4 | 1 | — | — |
| その他未払費用 | 18,465 | 34,520 | 50,194 | 66,822 | 81,190 | 95,942 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 214,901,444 | 208,641,845 | 192,339,162 | 191,062,704 | 191,454,907 | 185,513,853 |
| 元本 | 324,550,072 | 315,527,724 | 294,079,130 | 290,142,093 | 286,284,712 | 281,135,062 |
| 次期繰越損益金 | △109,648,628 | △106,885,879 | △101,739,968 | △99,079,389 | △94,829,805 | △95,621,209 |
| (D) 受益権総口数 | 324,550,072口 | 315,527,724口 | 294,079,130口 | 290,142,093口 | 286,284,712口 | 281,135,062口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 6,622円 | 6,612円 | 6,540円 | 6,585円 | 6,688円 | 6,599円 |

(注) 当ファンドの第108期首元本額は326,062,331円、第108～113期中追加設定元本額は13,631,246円、第108～113期中一部解約元本額は58,558,515円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第108期0.6622円、第109期0.6612円、第110期0.6540円、第111期0.6585円、第112期0.6688円、第113期0.6599円です。

(注) 2021年10月8日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は95,621,209円です。

○損益の状況

| 項 目 | 第108期 | 第109期 | 第110期 | 第111期 | 第112期 | 第113期 |
|-------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| | 2021年4月9日～ 2021年5月10日 | 2021年5月11日～ 2021年6月8日 | 2021年6月9日～ 2021年7月8日 | 2021年7月9日～ 2021年8月10日 | 2021年8月11日～ 2021年9月8日 | 2021年9月9日～ 2021年10月8日 |
| | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |
| (A) 配当等収益 | △ 7 | △ 39 | △ 46 | △ 99 | △ 61 | △ 7 |
| 支払利息 | △ 7 | △ 39 | △ 46 | △ 99 | △ 61 | △ 7 |
| (B) 有価証券売買損益 | 6,596,767 | 1,574,742 | △ 361,078 | 3,041,881 | 4,617,379 | △ 830,932 |
| 売買益 | 6,616,789 | 1,581,359 | 104,567 | 3,045,239 | 4,643,060 | 55,766 |
| 売買損 | △ 20,022 | △ 6,617 | △ 465,645 | △ 3,358 | △ 25,681 | △ 886,698 |
| (C) 信託報酬等 | △ 311,180 | △ 284,295 | △ 276,667 | △ 292,216 | △ 255,034 | △ 259,786 |
| (D) 当期繰越益金(A+B+C) | 6,285,580 | 1,290,408 | △ 637,791 | 2,749,566 | 4,362,284 | △ 1,090,725 |
| (E) 前期繰越損益金 | △ 43,231,450 | △ 36,486,456 | △ 32,997,502 | △ 33,551,257 | △ 31,294,094 | △ 27,129,018 |
| (F) 追加信託差損益金 | △ 71,080,008 | △ 70,112,193 | △ 66,634,280 | △ 66,826,988 | △ 66,466,572 | △ 65,995,791 |
| (配当等相当額) | (9,593,680) | (8,642,182) | (7,258,082) | (6,252,565) | (5,790,902) | (5,070,304) |
| (売買損益相当額) | (△ 80,673,688) | (△ 78,754,375) | (△ 73,892,362) | (△ 73,079,553) | (△ 72,257,474) | (△ 71,066,095) |
| (G) 計(D+E+F) | △ 108,025,878 | △ 105,308,241 | △ 100,269,573 | △ 97,628,679 | △ 93,398,382 | △ 94,215,534 |
| (H) 収益分配金 | △ 1,622,750 | △ 1,577,638 | △ 1,470,395 | △ 1,450,710 | △ 1,431,423 | △ 1,405,675 |
| 次期繰越損益金(G+H) | △ 109,648,628 | △ 106,885,879 | △ 101,739,968 | △ 99,079,389 | △ 94,829,805 | △ 95,621,209 |
| 追加信託差損益金 | △ 71,788,898 | △ 70,972,498 | △ 67,563,647 | △ 67,214,613 | △ 67,096,821 | △ 66,788,642 |
| (配当等相当額) | (8,889,291) | (7,787,452) | (6,337,411) | (5,868,929) | (5,163,175) | (4,279,839) |
| (売買損益相当額) | (△ 80,678,189) | (△ 78,759,950) | (△ 73,901,058) | (△ 73,083,542) | (△ 72,259,996) | (△ 71,068,481) |
| 繰越損益金 | △ 37,859,730 | △ 35,913,381 | △ 34,176,321 | △ 31,864,776 | △ 27,732,984 | △ 28,832,567 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 親投資信託の信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要した費用のうち、2021年4月9日～2021年10月8日の期間に当ファンドが負担した費用は436,566円です。

(注) 分配金の計算過程(2021年4月9日～2021年10月8日)は以下の通りです。

| 項 目 | 2021年4月9日～ 2021年5月10日 | 2021年5月11日～ 2021年6月8日 | 2021年6月9日～ 2021年7月8日 | 2021年7月9日～ 2021年8月10日 | 2021年8月11日～ 2021年9月8日 | 2021年9月9日～ 2021年10月8日 |
|------------------------------|--------------------------|--------------------------|-------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
| a. 配当等収益(経費控除後) | 913,860円 | 717,333円 | 541,028円 | 1,063,085円 | 801,174円 | 612,824円 |
| b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後) | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| c. 信託約款に定める収益調整金 | 9,598,181円 | 8,647,757円 | 7,266,778円 | 6,256,554円 | 5,793,424円 | 5,072,690円 |
| d. 信託約款に定める分配準備積立金 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 | 0円 |
| e. 分配対象収益(a+b+c+d) | 10,512,041円 | 9,365,090円 | 7,807,806円 | 7,319,639円 | 6,594,598円 | 5,685,514円 |
| f. 分配対象収益(1万口当たり) | 323円 | 296円 | 265円 | 252円 | 230円 | 202円 |
| g. 分配金 | 1,622,750円 | 1,577,638円 | 1,470,395円 | 1,450,710円 | 1,431,423円 | 1,405,675円 |
| h. 分配金(1万口当たり) | 50円 | 50円 | 50円 | 50円 | 50円 | 50円 |

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

| | 第108期 | 第109期 | 第110期 | 第111期 | 第112期 | 第113期 |
|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 1 万口当たり分配金 (税込み) | 50円 | 50円 | 50円 | 50円 | 50円 | 50円 |

○お知らせ

約款変更について

2021年4月9日から2021年10月8日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

インドネシア債券マザーファンド

運用報告書

第9期（決算日 2021年4月8日）
（2020年4月9日～2021年4月8日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 信託期間 | 2012年5月24日から2022年4月7日までです。 |
| 運用方針 | 主として、インドネシアの現地通貨建て国債、政府機関債、政府保証債、準政府債および国際機関債に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。 |
| 主要運用対象 | インドネシアの債券を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。 |

ファンド概要

主として、インドネシアの現地通貨建て国債、政府機関債、政府保証債、準政府債および国際機関債に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。また、インドネシアの企業が発行する現地通貨建て債券に投資することがあります。

ポートフォリオの構築にあたっては、利回り水準、金利動向および流動性を重視し、リスク分散を考慮しながら銘柄選定を行ないます。

なお、インドネシア国内市場の流動性や取引規制などを考慮して、インドネシア国外市場で取引されているインドネシアの政府、政府機関、準政府または企業が発行する現地通貨建て以外の債券に投資することがあります。この場合、実質的に現地通貨建て債券となるように外国為替予約取引などを行なうことがあります。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<636991>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 | 価 額 | | 債 組 入 比 | 券 率 | 純 資 産 額 |
|----------------|--------|-----|-------|---------|------|---------|
| | | 騰 落 | 中 率 | | | |
| 5期(2017年4月10日) | 円 | | % | | % | 百万円 |
| | 12,583 | | 9.4 | | 91.1 | 487 |
| 6期(2018年4月9日) | 12,811 | | 1.8 | | 93.3 | 407 |
| 7期(2019年4月8日) | 12,925 | | 0.9 | | 96.4 | 350 |
| 8期(2020年4月8日) | 11,235 | | △13.1 | | 89.9 | 241 |
| 9期(2021年4月8日) | 14,378 | | 28.0 | | 96.7 | 205 |

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 | 価 額 | | 債 組 入 比 | 券 率 |
|-----------|--------|-----|------|---------|------|
| | | 騰 落 | 率 | | |
| (期 首) | 円 | | % | | % |
| 2020年4月8日 | 11,235 | | — | | 89.9 |
| 4月末 | 11,948 | | 6.3 | | 94.6 |
| 5月末 | 13,066 | | 16.3 | | 96.7 |
| 6月末 | 13,610 | | 21.1 | | 98.0 |
| 7月末 | 13,272 | | 18.1 | | 96.2 |
| 8月末 | 13,306 | | 18.4 | | 96.9 |
| 9月末 | 13,227 | | 17.7 | | 96.8 |
| 10月末 | 13,475 | | 19.9 | | 96.9 |
| 11月末 | 14,241 | | 26.8 | | 96.8 |
| 12月末 | 14,477 | | 28.9 | | 96.0 |
| 2021年1月末 | 14,457 | | 28.7 | | 94.5 |
| 2月末 | 14,369 | | 27.9 | | 91.4 |
| 3月末 | 14,503 | | 29.1 | | 96.6 |
| (期 末) | | | | | |
| 2021年4月8日 | 14,378 | | 28.0 | | 96.7 |

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2020年4月9日～2021年4月8日)

基準価額の推移

期間の初め11,235円の基準価額は、期間末に14,378円となり、騰落率は+28.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

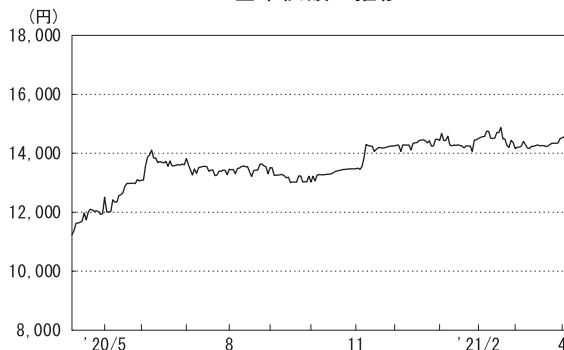
<値上がり要因>

- ・投資債券からインカム収入を得たこと。
- ・インドネシア中央銀行による強力な政策支援や経済活動の減速、およびインフレ圧力の鈍化がインドネシア国債価格の下支えになったこと。
- ・インドネシアの通貨が対円で上昇したこと。

<値下がり要因>

- ・2020年度の財政赤字見通し拡大が、債券発行の増加懸念につながったこと。
- ・期間末にかけて、堅調な米国の経済指標や、新型コロナウイルスのワクチンに関する進展および米国の財政支出の増加見通しなどを背景に、インフレ再来への懸念が高まり、米国国債利回りが上昇（債券価格は下落）したこと。
- ・期間末にかけて、米国金利のボラティリティ（変動性）が高まったことが、インドネシアを含む新興国資産に対する市場心理を圧迫したこと。

基準価額の推移



| 期 首 | 期中高値 | 期中安値 | 期 末 |
|------------|------------|------------|------------|
| 2020/04/08 | 2021/02/17 | 2020/04/09 | 2021/04/08 |
| 11,235円 | 14,870円 | 11,373円 | 14,378円 |

(債券市況)

新型コロナウイルスの影響により、特に民間消費や投資を中心とする内需が落ち込み、2020年第2四半期のインドネシア経済はおよそ20年ぶりの縮小となりました。新型コロナウイルスに対応するための景気刺激策の強化や歳入の減少を背景に、インドネシア政府は2020年度の財政赤字見通しを国内総生産（GDP）対比6%以上へと引き上げることを余儀なくされました。これにより、債券発行の大幅な増加が懸念され、期間の初めはインドネシア国債の利回りに上昇圧力がかかりました。2020年7月には、インドネシア財務省とインドネシア中央銀行が、増加した予算コストの資金調達負担を分担することで正式に合意しました。政策当局は、今回の財政赤字に伴うマネタイゼーション（中央銀行が通貨を増発して政府発行の国債を直接引き受けること）は、短期的に景気回復を支援することに明確に焦点を置いた1度限りの政策であると強調しました。これにより、ネットの債券発行額が減少することから、供給を巡る懸念は後退しました。

2020年通年のインドネシアGDPは前年比2.1%の縮小となりました。また、内需の低迷を背景に、総合インフレ率は期間を通じて低水準で推移しました。当期間、インドネシア中央銀行は政策金利を合計1%引き下げたほか、的を絞ったマクロプルーデンス（金融システムの安定を確保し、経済悪化のなかでも需要を維持させる）政策の緩和も発表しました。同中央銀行は、2021年のGDP見通しを前年比4.3%～5.3%としています。

経済成長の減速とインフレの低迷を背景とした金融緩和政策により、当期間インドネシア国債は上昇しました。全体的にリスク選好意欲が好調だったことも、新興国市場（EM）への大幅な資金流入を促し、インドネシア国債の上昇に寄与しました。

期間末にかけては、米国の経済成長回復に対する信頼感が高まり、市場がインフレ再来を織り込んだことが米国金利の上昇に繋がりました。米国国債市場の下落により、インドネシア国債を保有することの相対的な魅力度が低下し、新興国資産に対する需要も後退したことから、インドネシア国債の利回りは大幅に上昇しました。

(為替市況)

期間中におけるインドネシアルピアは、対円で右記の推移となりました。



ポートフォリオ

期間中、インフレの低迷や魅力的なキャリー収入および新興国市場への大幅な資金流入を背景に、インドネシア国債に対して前向きな見方を概ね維持しました。2021年1月には、債券供給に対する懸念などを背景に、インドネシア国債に対してより慎重な見方に転じました。期間の後半にかけては、インドネシア国債は米国国債のイールドカーブ（利回り曲線）のスティープ化や新興国市場からの資金流出の影響を受けやすいという観点から、デュレーション（金利感応度）を縮小しました。

○今後の運用方針

市場では、今後数四半期は米国の経済成長が加速するだろうとの見方がますます織り込まれていることから、当面は米国金利の上昇傾向が続く可能性があります。当ファンドでは、インドネシア債券は新興国市場に対する投資家心理の変動の影響を受けやすいという観点から、現時点ではデュレーションをアンダーウェイトにすることが賢明であると考えています。

引き続き、主として、インドネシアの債券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2020年4月9日～2021年4月8日)

| 項目 | 当期 | | 項目の概要 |
|-----------------------|----------|------------|---|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) その他費用 | 円 163 | % 1.192 | (a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （保管費用） | (35) | (0.254) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （その他） | (128) | (0.938) | その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合計 | 163 | 1.192 | |
| 期中の平均基準価額は、13,662円です。 | | | |

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年4月9日～2021年4月8日)

公社債

| | | | 買付額 | 売付額 |
|----|--------|------|--------------------------|--------------------------|
| 外国 | インドネシア | 国債証券 | 千インドネシアルピア 33,463,691 | 千インドネシアルピア 43,038,845 |

(注) 金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

○利害関係人との取引状況等

(2020年4月9日～2021年4月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年4月9日～2021年4月8日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2021年4月8日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

| 区 分 | 当 期 末 | | | | | | | |
|--------|------------|------------|---------|------|-----------------|-----------|------|------|
| | 額面金額 | 評 価 額 | | 組入比率 | うちBB格以下 組入比率 | 残存期間別組入比率 | | |
| | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | | | 5年以上 | 2年以上 | 2年未満 |
| インドネシア | 千インドネシアルピア | 千インドネシアルピア | 千円 | % | % | % | % | % |
| 合 計 | 25,084,000 | 26,528,758 | 198,965 | 96.7 | — | 89.1 | 7.7 | — |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

| 銘 柄 | 利 率 | 当 期 末 | | | |
|----------------------|-------|------------|------------|--------|-----------|
| | | 額面金額 | 評 価 額 | | 償還年月日 |
| | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | 千円 | |
| (インドネシア) 国債証券 | % | 千インドネシアルピア | 千インドネシアルピア | 千円 | |
| INDONESIA GOVERNMENT | 5.625 | 1,000,000 | 1,017,500 | 7,631 | 2023/5/15 |
| INDONESIA GOVERNMENT | 8.125 | 1,000,000 | 1,082,500 | 8,118 | 2024/5/15 |
| INDONESIA GOVERNMENT | 5.5 | 4,000,000 | 3,980,000 | 29,850 | 2026/4/15 |
| INDONESIA GOVERNMENT | 8.375 | 1,500,000 | 1,680,000 | 12,600 | 2026/9/15 |
| INDONESIA GOVERNMENT | 6.125 | 1,000,000 | 989,500 | 7,421 | 2028/5/15 |
| INDONESIA GOVERNMENT | 8.25 | 1,500,000 | 1,673,250 | 12,549 | 2029/5/15 |
| INDONESIA GOVERNMENT | 7.0 | 2,000,000 | 2,079,000 | 15,592 | 2030/9/15 |
| INDONESIA GOVERNMENT | 6.5 | 2,300,000 | 2,314,950 | 17,362 | 2031/2/15 |
| INDONESIA GOVERNMENT | 7.75 | 2,000,000 | 2,152,709 | 16,145 | 2031/4/15 |
| INDONESIA GOVERNMENT | 8.75 | 2,000,000 | 2,315,000 | 17,362 | 2031/5/15 |
| INDONESIA GOVERNMENT | 9.5 | 1,500,000 | 1,803,750 | 13,528 | 2031/7/15 |

| 銘 柄 | 利 率 | 当 期 末 | | | |
|----------------------|-------|------------|------------|---------|-----------|
| | | 額面金額 | 評 価 額 | | 償還年月日 |
| | | 外貨建金額 | 邦貨換算金額 | 千円 | |
| (インドネシア) 国債証券 | % | 千インドネシアルピア | 千インドネシアルピア | 千円 | |
| INDONESIA GOVERNMENT | 8.25 | 500,000 | 555,000 | 4,162 | 2032/6/15 |
| INDONESIA GOVERNMENT | 6.625 | 1,000,000 | 987,500 | 7,406 | 2033/5/15 |
| INDONESIA GOVERNMENT | 7.5 | 1,000,000 | 1,046,000 | 7,845 | 2035/6/15 |
| INDONESIA GOVERNMENT | 7.5 | 500,000 | 515,500 | 3,866 | 2038/5/15 |
| INDONESIA GOVERNMENT | 7.5 | 1,984,000 | 2,040,544 | 15,304 | 2040/4/15 |
| INDONESIA GOVERNMENT | 6.875 | 300,000 | 296,055 | 2,220 | 2051/8/15 |
| 合 計 | | | | 198,965 | |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2021年4月8日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|---------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 公社債 | 千円 | % |
| コール・ローン等、その他 | 198,965 | 93.0 |
| 投資信託財産総額 | 14,880 | 7.0 |
| | 213,845 | 100.0 |

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産(204,813千円)の投資信託財産総額(213,845千円)に対する比率は95.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=109.83円、1インドネシアルピア=0.0075円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年4月8日現在)

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|--------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 218,365,162 |
| コール・ローン等 | 11,211,417 |
| 公社債(評価額) | 198,965,688 |
| 未収入金 | 4,519,830 |
| 未収利息 | 3,075,644 |
| 前払費用 | 592,583 |
| (B) 負債 | 12,620,969 |
| 未払金 | 10,503,996 |
| 未払解約金 | 2,116,973 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 205,744,193 |
| 元本 | 143,099,741 |
| 次期繰越損益金 | 62,644,452 |
| (D) 受益権総口数 | 143,099,741口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 14,378円 |

(注) 当ファンドの期首元本額は214,767,944円、期中追加設定元本額は15,327,963円、期中一部解約元本額は86,996,166円です。

(注) 2021年4月8日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・インドネシア債券ファンド 143,099,741円

(注) 1口当たり純資産額は1.4378円です。

○損益の状況 (2020年4月9日～2021年4月8日)

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|-------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 14,111,429 |
| 受取利息 | 14,081,323 |
| その他収益金 | 30,622 |
| 支払利息 | △ 516 |
| (B) 有価証券売買損益 | 53,834,387 |
| 売買益 | 80,091,079 |
| 売買損 | △26,256,692 |
| (C) 保管費用等 | △ 3,117,807 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 64,828,009 |
| (E) 前期繰越損益金 | 26,519,945 |
| (F) 追加信託差損益金 | 5,437,641 |
| (G) 解約差損益金 | △34,141,143 |
| (H) 計(D+E+F+G) | 62,644,452 |
| 次期繰越損益金(H) | 62,644,452 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2020年4月9日から2021年4月8日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。